

松江北高校の社会の学習について

中学校の社会科は、その学習内容を「地理的分野」「歴史的分野」「公民的分野」にわけながら、それらを相互に結びつけた授業が展開されていると思いますが、高等学校においても必修科目として地理歴史科で「世界史」「日本史または地理」、公民科で「現代社会」が実施されています。したがって、中学校で学んだ基礎的知識や考察力は高校における学習の大切な要素となります。社会科も中学時から、しっかりと取り組んでおくことが重要です。

実際、受験期の中3生のみなさんは、さまざまな方法で中学3年間の社会科における学習内容を総復習することになるとと思いますが、そこでの学習定着度はまちがいになく高校での学習のステップアップにつながります。

ただ、そこにおいて、いたずらに受験必出用語だけを覚えたり、塾や通信教育のいう「重要ポイント」・「出るところテーマ」だけを覚えたりというのだけでは、当然“確かな”学力を得たということにはなりません。自分自身が何を目的に、何を知りたいと思い、何をどう考えていくことが重要なのか、などということを常に意識して日頃の授業にとりくむ、そうした地道な1日1日の学習の積み上げが、みなさんの“確かで本当の”学力を醸成してくれます。

塾や通信教育を否定するつもりは毛頭ありません。しかし、いつもみなさんのことを大切に考え、何をどうやって教えていってあげたらよいかといつも考えていらっしゃる中学校の先生方の授業を大切にしてください。私たち北高校の教員も、「授業第一」の合い言葉の下、一生懸命がんばっています！！

つい最近のことですが、2年生の4月から「地理歴史科」の学習がはじまっている北高校の2年生の生徒にも次のような学習アドバイスをしました。そのワンフレーズを中学生のみなさんにもお伝えしておきます。

- 世界史・日本史・地理とも教科書を読み込み、資料集を丁寧に見わたし、あふれんばかりの学習内容(情報)を地道な学習の積み上げで自分の味方に引き込もう！
- 世界史・日本史は「読書」的に「物語」風に読みあげると、興味もいっそうわくのでは…。音読すると記憶力も一層増すぞ！
- 地理は「土地と人間」の関係を学ぶわけだが、実際には歩かなくても、快適な部屋で地図帳でも開いて、地図の上をフィールドワークするのはいかがであろうか。いい発見がきっと待ってるぞ！
- そう、それと、世界史・日本史は、絶えず5W1H1R方式の学び方と、イメージーションを働かせたロマンをもって「時間と人間」の関係史をのぞいてみたいものだ。